

まちかど
ネットワーク

「まちかどネットワーク」は、皆さんの地域の話題を中心にお届けするコーナーです。
皆さんの身近で起こった出来事、御意見などをお寄せください。連絡先：市内永田町1-100 市広報広聴課
☎ 5-1033 内線二八三三
締め切りは毎月十五日です。

市長への手紙から

ねたきり老人などの
長期介護者にねぎらいを

このコーナーは「市長への手紙」をお寄せくださった人の中から、意見・提言などを紹介します。今回は、船津の桶川寅吉さんの「ねたきり老人などの介護を十一年以上続ける人の表彰」についてです。（「市長への手紙」の用紙は、各公民館などにあります。）



△ことしから15年以上介護した人に感謝状を贈呈



桶川寅吉さん

〈市長への手紙〉
私は福祉関係に奉仕して約三十年になります。最近、老人人口が増加し、国をあげて老人ケアが叫ばれています。富士市としても、在宅福祉については全市をあげて取り組み、昨年から実施の介護者慰労金（三万円）の支給は、市の英断として福祉に参画する我々も、あらゆる対

外的協議の場で誇示しています。さて、我々が老人ケア推進に当たり、在宅痴呆ねたきり老人を調査すると、長期介護の人々には、しみじみ頭が下がります。そこで、これまで十年以上介護を続けている人を年一回、社会福祉協議会で表彰していますが、十一年以上介護を続けている人には、市長名で表彰してくださることはできないでしょうか。

早速感謝状を贈呈

〈市長の答え〉
市長への手紙ありがとうございます。桶川さんがおしゃるとおり、こ

れから高齢化社会が進むに従って、老人福祉はより一層きめ細かいものが必要となります。現実の問題として、一たびねたきり老人や痴呆老人になってしまうと、本人はもとより介護者の苦労ははかり知れないものがあります。そこで、昨年度から介護者の皆さんの労を少しでもねぎらおうと、慰労金を支給することにしました。

また、御提言いただいた十五年以上介護を続けている皆さんの表彰については、重度障害者の介護者も含めて、ことしの社会福祉大会から感謝状を贈呈させていただきますことにしました。

陸上女子100mで高校総体と国体の二冠に輝いたスプリンター

土屋美緒さん

（上横割・富士見高3年）



濃いグレーのトレーニングウェアにおさげ髪。顔にはちよつぱり青春のシンボルが顔を出し、はつきり言つて外見はどう見てもふつうの女子高生。

でも一たびコースに出ると、日本で二指に入るスプリンターに变身。高校総体と国体で見事優勝し、輝かしい伝統を誇る富士見高校陸

上部の歴史に、ひときわ光る成績を残しました。

田子浦小四年生のとき先生の勧めで百メートルに挑戦して以来、恵まれた才能の上に努力が加わり、メキメキ実力をつけました。そして、田子浦中一年と二年のとき全国優勝。しかし、必ずしも順調なときばかりでなく、けがに泣いたこともありました。そして、万全を期して挑んだことし、高校界の女王となりました。

陸上部の稲葉監督は「技術的にも精神的にも大きく成長した」とべた褒め。来年は進学予定で現在の課題は「太らないこと」。敵は食べ物だけのようです。